

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和元年度

施策コード 313

施策 介護保険制度の安定的運営

管理事業 介護保険サービス整備等事業

2 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 老人福祉施設建設費借入利子補給事業	高齢福祉室	特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人に対し、独立行政法人福祉医療機構からの借入金に係る利子の一部を助成する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 669	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 平成13年度以降、特別養護老人ホーム等を整備した社会福祉法人への補助は行っておらず、令和2年度をもって補助対象事業者がいなくなるため事業を廃止	今後の方向性 廃止

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 地域密着型サービス整備補助事業	高齢福祉室	高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の目標達成に向け、社会福祉法人等による地域密着型サービスの整備を促進するため、整備費等の一部助成を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 41,151	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 府の基金を財源に補助を行っており、市の財政的な負担はないが、補助対象である地域密着型サービスの整備が目標に達していないことが課題である。この課題に対応するため、公有地の活用等の取組を行っている。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 居宅サービスに係る利用者負担額の助成事業	高齢福祉室	対象者が居宅サービスを利用し、サービス事業者が行った保険請求に基づき利用者負担額の1/4を助成する。対象要件は、市民税非課税世帯者で世帯収入の合計が120万円以下などの要件がある。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 330	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・利用者負担の重さがサービス利用手控えにつながることはないよう、低所得者対策として本事業は継続していく必要があるが、助成金の支給時期がサービスの利用後、2年近くかかるため、事業のあり方については検討が必要である。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 訪問介護利用者に対する利用者負担額軽減措置事業	高齢福祉室	障害者総合支援法によるホームヘルプサービスの利用において、境界層該当者として定率負担が全額免除となっている人に対し介護保険訪問介護利用料の10%の利用者負担額を全額免除する。	事業の一部が法定事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 0	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤ 社会福祉法人等による利用料負担の軽減措置に伴う助成事業	高齢福祉室	収入や預貯金等の要件を満たす対象者に社会福祉法人が利用者負担額の25%を軽減し、軽減した割合が一定の割合を超えた社会福祉法人に対し、軽減額の一部を助成する。	事業の一部が法定事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 196	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・現在は対象となる全施設での実施となっておらず、低所得者対策として、未申請施設には申請を促す必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥ 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業	高齢福祉室	介護保険法により定められた高齢者保健福祉施策や介護保険事業の目標などを定めた「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を3年ごとに策定する。	事業全体が法定事務
決算額(事業費) 令和 元 年度 (千円) 3,618	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・令和7年(2025年)、更にはその先の令和22年(2040年)までを視野に入れた具体的なイメージの下、地域包括ケアシステムのあるべき姿に向けて段階的に各事業の充実・改善に取り組んでいくため、計画期間ごとの目標を示すロードマップを定めているが、そのロードマップに従って進捗管理を行っていくことが課題である。	今後の方向性 継続

上記以外の予算事業 ※ 一般事務事業、還付・償還事業、繰出事業、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などはこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課
通所介護事業	高齢福祉室		
認知症高齢者グループホーム事業	高齢福祉室		
吹田市介護老人保健施設施設管理事業	高齢福祉室		
介護ロボット等導入支援事業	高齢福祉室		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和元年度

施策コード	313	施策	介護保険制度の安定的運営
管理事業	介護保険サービス整備等事業	2 枚のうち	2 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑦ 介護人材確保事業	高齢福祉室	介護人材の質の向上と確保・定着を促進するため、介護サービス事業者への研修支援及び面接会等を実施する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和元年度 (千円) 2,508	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 <small>※課題があるものは■</small>	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・令和元年度から、市内の特別養護老人ホームに勤務する介護職員を対象に、喀痰吸引等研修(実地研修)を実施した。 ・平成30年度から実施している介護資格取得支援事業補助金に係る予算執行率は約41%に留まるため、広報・周知を強化することが課題である。 ・ハローワーク淀川との合同面接会について、介護人材不足の解消につながるよう、より、効果的な取組を検討することが課題。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑧ 老人福祉施設整備費積立事業	高齢福祉室	大規模特別養護老人ホーム等の老人福祉施設の整備促進等を目指し、施設整備の一部助成費や市の高齢者施設の整備費等に充当する財源とするために基金の積立を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和元年度 (千円) 2	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 <small>※課題があるものは■</small>	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・積立金額が増加しているため、今後の市内における高齢者の動態等を見極めつつ、基金を有効に活用していくことが課題。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑨ 認知症高齢者グループホーム等の防災改修等支援事業	高齢福祉室	市内における既存の認知症グループホーム等に対し、防災目的や老朽化している建物の改修事業を助成する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和元年度 (千円) 14,868	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 <small>※課題があるものは■</small>	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・国の交付金を原資としているため、市の財政的負担なしに助成を行うことができるが、国からの意向調査期間が短く、事業者が交付金の活用を検討する期間を十分に確保することが困難なことが課題。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑩ 既存介護施設等のスプリンクラー整備支援事業	高齢福祉室	市内における既存の介護施設等に対し、火災発生時等に備えたスプリンクラーの整備費の一部を助成する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 令和元年度 (千円) —	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 <small>※課題があるものは■</small>	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・国の交付金を原資としているため、市の財政的負担なしに助成を行うことができるが、国からの意向調査期間が短く、事業者が検討する期間を十分に確保することが困難なこと、また、法的設置義務がないことを理由に事業者が整備に消極的であることが課題。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑪			
決算額(事業費) 令和元年度 (千円) —	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 <small>※課題があるものは■</small>	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑫			
決算額(事業費) 令和元年度 (千円)	評価の視点 <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 <small>※課題があるものは■</small>	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

上記以外の予算事業 ※ 一般事務事業、還付・償還事業、繰出事業、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などはこちらに記入。

事業名	所管室課